



おかあさ～ん こっちこっち!
虫亀保育所運動会

人口の動き ■人口 2,918人(△3) 男 1,473・女 1,445 ■世帯数 795(±0)
(3.9.30現在) ■9月中のうごき □出生3 □死亡5 □転入2 □転出3

広域文化展・文化講演会
ご案内

文化展
「文化・絵にみる江戸時代」
地域江戸時代の料理復元、小国の紙、ききん
二十村郷牛の角突きの習俗、川口の本陣外多数
日時 11月23日(土) 午前9時30～午後6時
24日(日) 午前9時～午後4時30分

講演会
11月24日(日) 午後12時30分から
「農村は人間性の宝庫」
講師 新潟大学教授 宇沢 弘文氏
「おくに森林公園設立の動機と現況」
講師 おくに森林観光社長 大橋 義治氏
場所 小千谷市城内町グリーンパーク内(2階)
入場料 一般500円(案内冊子・講演会込み)
中学・高校生 300円
※講演会は満席になり次第締め切りとなります。
主催 広域ふるさと文化協会
後援 小千谷市・川口町・小国町・山古志村
市農業協同組合・市商工会議所・市総合文化協会
入場案内冊子は役場にありませう。

献血はだれでも
できる助けあい

「愛の献血」にご協力ください。

11月15日(金)
村民会館
午前10時～12時
山古志農協本所
午後1時～3時



おま
らと

錦鯉、闘牛、スキー場、火まつりの四種類をカラー印刷した。お年玉つき年賀はがき山古志版が、十一月一日から発売されます。ふるさとのおたよりとして是非ご利用ください。各地区の郵便局・簡易郵便局・切手類販売所、お早目にお買い求めください。価格は四一円です。

～郵便局から～

錦鯉・闘牛
スキー場・火まつり
カラー写真入り
年賀はがき発売

児童手当制度が改正されます 平成4年1月1日から

一人目のお子さんから支給されます

子どもを健やかに産み育てるための環境づくりの重要な柱として、児童手当制度が改正されます。今回の改正で、一人目のお子さんから支給されます。支給額は一人目と二人目には月額5,000円、三人目以降からは月額10,000円となります。支給期間も段階的に変更され、最終的にはすべ

てのお子さんが3歳未満となります。この改正は平成4年1月1日から実施されます。ただし、支給期間に関して次のような経過措置があります。また、新に支給の対象となる世帯は、前もってこの11月から申請することができます。該当すると思われる世帯には、役場から申請用紙を配布します。詳しくは、役場住民課にお問い合わせください。

事項	改正前	改正後
支給対象	第2子以降	第1子以降
支給期間	義務教育就学前	3歳未満
支給金額		
第1子	—	5,000円(月額)
第2子	2,500円(月額)	5,000円(月額)
第3子以降	5,000円(月額)	10,000円(月額)

支給期間に関する経過措置

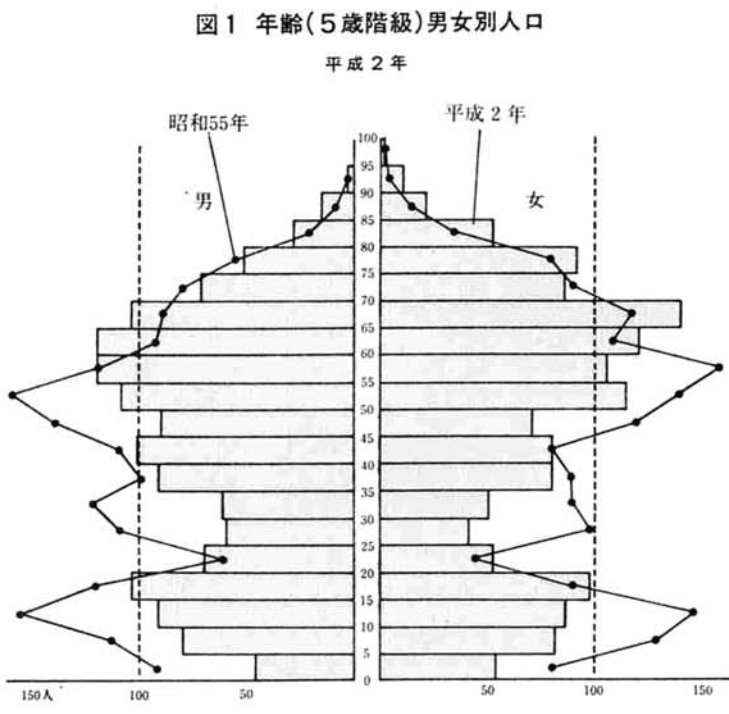
第1子	平成3年1月2日以後に生まれた児童	3歳の誕生日の属する月分まで
第2子以降	昭和60年4月2日～61年12月31日生まれの児童	平成3年12月分まで
	昭和62年1月1日～12月31日生まれの児童	5歳の誕生日の属する月分まで
	昭和63年1月1日～12月31日生まれの児童	平成4年12月分まで
	平成元年1月1日～12月31日生まれの児童	4歳の誕生日の属する月分まで
	平成2年1月1日～12月31日生まれの児童	平成5年12月分まで
	平成3年1月1日以後に生まれた児童	3歳の誕生日の属する月分まで



山古志村の 高齢化度は

平均年齢 45.2歳
老年人口 24.0%

昨年十月に行われた国勢調査の第一次集計結果によると、山古志村の総人口は二、八六七人、世帯数は八二二世帯となり、六十年調査と比較すると、それぞれ三五



二人、六六世帯減少しました。年齢別人口を一目で分かるようにグラフにしたのが図1の人口ピラミッドです。平成二年のグラフを昭和十五年と比較すると、次のような特徴が見られます。
①二十歳から二十九歳の人口が、十年前の約七十%に減少しているのは、就職などで村外へ転出したためと考えられます。
②ピラミッドの上部の人口が、十五年に比べやや高くなっているのは、高齢化が進んでいるためです。
平成二年の人口を年齢三区分別

に見ると、十四歳以下の年少人口が四二五人、十五歳から六十四歳の生産年齢人口が一、七五五人、六十五歳以上の老年人口が六八七人で総人口に占める割合はそれぞれ四・八%、六二・二%、三三・〇%になっています。
これを昭和六十年に比べると年少人口が一七七人、三・九ポイント、生産年齢人口が二五七人、一・三ポイント、それぞれ減少したのに対し老年人口が八二二人、五・二ポイントの増加となっている。これは出生率の低下と平均寿命の伸長によるものと思われまます。
高齢者の割合で県内のトップは鹿瀬町の二八・四%で、山古志村は上位から十一番目となっています。また平均年齢は四五・二歳となり、六十年調査を二・七歳高くなってきました。県内のトップは鹿瀬町の四九・七歳で、山古志村は上位から十七番目となっています。
人員別世帯数は一人世帯一〇四二人世帯二〇六三人世帯二六九四人世帯一〇四五人世帯八三六六人世帯九三七人世帯五一八人世帯一〇九人世帯一、一世帯当り三・四九人です。一人世帯の一〇四人のうち、六十歳以上の単身世帯が四五世帯あり、全体の五%と六十年調査を二ポイント増加しています。

長梅雨冷夏がたたたり 大幅減収に 三年産米

新潟気象台古始まって以来の遅い梅雨明け、その後は冷夏にみまわれ、今年の水稲の作柄が心配されてきました。その後、北陸農政局新潟統計情報事務所は、九月十五日現在の作柄概況を発表。県全体の作況指数は九五の「やや不良」で昨年同期を五ポイント下回った。中越地域も前年を二ポイント下回る九四でした。
九月二十日に行われた村農業委員会による作況調査では、低温、日照不足などで、いもち病の発生や穂付きの悪い水田が目立ち、前年対比で九四%の予想でした。
九月中旬から本格的な刈取作業も始まり順調に進んでいました。



学校田の稲刈(種彦原小学校)

台風による被害も思いのほか少なくてほっとされたと思います。しかし、十月に入り雨降りが多く稲上げ作業も大幅に遅れ込んでしましました。
山古志農協本所の政府売渡し数量五、六〇〇俵に対し、出荷量は九〇%がやっととの話でした。出荷米の検査会場である農家は「あまりにもモミのたまりが遅く、途中に振りまいていたのでは、後を振向いてしまいました」と話されたように、思いのほか大幅な減収となったようです。

新潟放送で (TBS)

ゆきぐに企画の 活躍が放映されます

十一月十六日(土) 午前七時三十分から十五分間、「ふる里の味」を缶詰にノコイに恋する!? ちむらお「こし夢ロマン」と題されて、ゆきぐに企画が村の特産品にとり組んだ恋深(こいこく)缶詰等が紹介されます。ぜひ、ご覧ください。

一般会計

(単位 万円)

歳入		歳出			
科目	予算額	収入済額	科目	予算額	支出済額
村税	9,045	5,215	議会費	5,287	2,577
地方譲与税	2,920	726	総務費	30,642	13,058
利子割交付金	200	203	民生費	17,803	6,615
自動車取得税交付金	1,480	573	衛生費	12,760	4,277
地方交付税	129,651	61,642	労働費	18	0
交通安全対策交付金	0	0	農林水産業費	41,329	11,981
分担金・負担金	1,562	747	商工費	2,283	531
使用料・手数料	1,475	201	土木費	34,422	5,279
国庫支出金	10,133	582	消防費	7,628	3,483
県支出金	15,391	556	教育費	26,846	9,989
県産収入	7,421	3,575	災害復旧費	13,720	2,777
寄付入金	0	0	公債費	28,504	13,921
繰入金	17,932	17,274	諸支出金	0	0
繰越金	4,460	4,460	予備費	88	29
諸収入	4,710	1,116			
村債	14,950	0			
合計	221,330	96,870	合計	221,330	74,517

村の財政状況を お知らせします

(九月末現在)

平成三年度上半期(九月末まで)の財政状況をお知らせします。一般会計では、予算額に対し、収入済額四三・八%、支出済額三三・七%となっています。この後、村税、地方交付税、人件費などの経常的な収支のほか、事業の進みます。



完成間近の関牛アパート(池谷)

特別会計

(単位 万円)

	国民健康保険	山古志村診療所	歯科診療所	老人保健
予算額	19,978	10,320	2,877	22,012
収入済額	8,888	4,125	1,511	9,375
支出済額	8,233	4,767	1,386	8,935

健康「ラム」

その2



今月の担当は 小川保健婦です

「男性の介護者」
私が村内を巡回している中で、ねたきり者を抱えた家庭にも何件か伺わせてもらっています。様々な家庭の事情がありますが、女性が介護しているのが一般的です。しかし、場合によっては奥さんが倒れ、その御主人が介護にあたらざるをえないこともあります。
「男性が介護する」というと、周囲はいつまで続くかなと不安に思いがちです。それが奥さんが倒れたことで、改めて奥さんの存在の大きさを感じ、一旦自分が面倒を見るんだと決心すると、その力は女性以上だということなんです。
そんな男性の一人が虫亀の田中五郎さんです。奥さんと二人暮らし。その奥さんが三か月間の入院生活を終え、九月に虫亀に帰ってきました。退院したばかりの奥さんは顔色もすぐれず、不安そうで堅い表情をしていました。それが二週間後に伺ってみると、表情は和らぎ笑顔さえ見られるようになりました。この変化には御主人の五郎さんの力が大きいと思います。そして今の五郎さんがあるのは、お嫁に来て間もない広子さんが、

入院中毎日付添って介護する姿に刺激され、心打たれたからだそうです。それから、親戚、ヘルパー民生委員、近所の人達の支えもあってのことです。
ただこれだけの人達にささぐられるということとは、奥さんの人柄の良さと、それ以上に五郎さんへの途すが周囲を動かしているように思われてなりません。「自分はできるだけのことはやるつもりだ。でも年も年だから周囲の協力なしではできない」と。
これからの山古志を考えると、一人暮らし、二人暮らしの家庭が増えていきます。各自が病気になるまいよう気をつけることが一番ですが、いつ何が起るかわかりません。そんな時、家庭だけではどうしようもないのが現状です。日頃から一人一人が互いに支え合っているよう心がけていくことが大切です。そして私たちが力ながらも、皆さんと一緒に支えあえるよう活動していきたいと思



生け花教室
会員十五人、いつもなごやかな雰囲気、男性も頑張っています。



油絵教室
会員十六人、なかなか全員がそろわないのが、悩みのタネ……。

秋の公民館講座



**元気はつらつ
リフレッシュ**
奥さま健康教室

去る十月四日村民会館で、竹沢郵便局主催「種芋原・東山郵便局」など後援で「奥さま健康教室」が開かれました。
当日は約六十人のおかあさん方が参加、小千谷市など村外の人も見受けられました。
中村竹沢郵便局長は「簡易保険創業七五周年記念としてこの教室を開催。講演・体操により、今後も家族の健康づくりに役立ててください」とあいさつを述べていました。
講演会は役場小川保健婦さんを講師に開かれ、成人病予防のクイズを取り入れながら、食事づくりの実践をポイントに、村のデータ

なども加え、すぐ実行できる内容の講演でした。
その後、エアロビクス体操に入り、新潟ダンススタジオのインストラクター青柳さんの指導のもと、ホールいっぱいになり、リズムカルな音楽にのせて、青柳さんのかけ声とともに軽快な動きで全員が、心よい汗を流されました。日ごろの運動不足を認識する場面もありましたが、心身ともにリフレッシュされたようです。



普及所から
農改コーナー
見て楽しく食べておいしい子どもの喜ぶおべんとう作り「作り方の四つのポイント」
◎一日に必要な栄養の量を上手に上手にする
◎子供の喜ぶ演出をして、楽しみながら食べられる工夫
◎味つけに変化をつける工夫
「ごはんサンドべんとうの作り方」
① 角型の浅い容器にラップを敷き、ごはんを1cm厚さに平にのばす
②



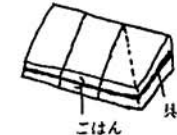
ごはんの上に具を平にのせる

- (具の工夫)
- ・たらこ 薄皮から出す
 - ・卵 砂糖・塩を加え炊き卵にする
 - ・梅干 こまかくきざんでかつおぶしと合わせる
 - ・ツナ缶 油を切ってマヨネーズであえる

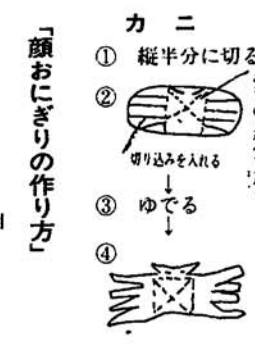
- ⑤ 仕上げのりを1切れの幅に合わせて切りごはんの両面につける



- ③ 具の上にごはんを平にのせる
④ 形をくずさないようラップごと容器からはずす
食べやすい大きさに切る



女の子の顔
目……グリーンピリス
髪……まゆ……のり
口……カマボコ
ほほ……ゴマ塩
色……色とりよく(配色する)



カニ
① 縦半分に切る
② 切り込みを入れる
③ ゆでる
④



たこ
「楽しいおべんとうを作る工夫」
ウインナーソーセージを斜に切り下半分に切り込みを入れゆでパセリと黒ゴマで顔を作る



スポーツの秋
チビっ子集合
保育所合同運動会

去る十月九日村内三保育所合同の運動会が竹沢保育所で行われました。
児童たちが、「てるてるぼうず」にお願いした効果でしょうか、天候にも恵まれ絶好の運動会日和となりました。
この運動会には、おかあさんはもちろんのこと、老人クラブの方も参加。各保育所児童によるエールの交換で始まり、かけっこ、遊戯、リレーにさかんな声援が送られ元気にかけまわっていました。お年寄りも児童にまげつとハッスル、借り物競争では児童と一緒に競技。みんな楽しんで一日を過ごされていました。

教育長杯テニス大会
優勝は
小川・長島ペア
十月五日第二回山古志村教育長杯テニス大会が種芋原運動広場で行われました。
午後七時三十分開会、肌寒いなか十一組が参加してミックスダブルス戦が行われました。即席のペアとあつて連携プレーのまささも見られましたが、観衆の見つめるなかボールを追い掛け走りまわっていました。
決勝戦は、共に三試合を勝ち進



アタック・レシーフ
好プレー
バレーボール大会

十月二十一日から山古志村混合バレーボール大会、リーグ戦が山古志中学校体育館で始まり、今年も教員チームも加わり、七チームが参加。開会式で大会運営委員長の小川栄久雄さんは「交流と健康づくりの大会主旨にのっとりケガの無いように頑張ってください」と話されていました。
優勝・準優勝の返還後、ウインタムチームの小池晃佳さんが「チームの和を大切に最後までベストをつくします」と力強く宣誓。
この日は、二コートに分かれて三試合が行われ、各試合とも、接戦となり好試合が続きました。



美緒ちゃん ★★★★★ **わが家の**
スター
昭和63年7月14日生まれ 青木和久・峰子さん(長女)
—油夫—
こんにちは。やんちゃ娘のみーちゃんです。キティちゃんやミッキーマウスが大のお気に入り。この前はディズニーランドでミッキーやミニーと写真も撮ってもらった。パパとのドライブもだ〜い好き

